

(一社) 日本非破壊検査協会 秋季講演大会講演募集

2026年10月6日(火)、7日(水)

会場

グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)

大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

募集テーマ

1. オーガナイズドセッション (OS)

(1) 「鉄筋コンクリート及び鋼構造物への非破壊試験の適用」

日本非破壊検査協会には、要素技術分野として、放射線部門(RT)、超音波部門(UT)、磁粉・浸透・目視部門(MPVT)、電磁気部門(EMT)、漏れ試験部門(LT)、応力・ひずみ測定部門(SSM)、AE・音響部門(AET)、赤外線部門(IRT)があり、これらを横断的にも捉えた応用技術分野の一つに「建設インフラ部門(SCI)」がある。

建設インフラ部門(SCI)では、要素技術分野の部門で扱われている要素技術に、部門にはなっていない要素技術(反発度等)を加え応用して、鉄筋コンクリート構造物に適用可能な非破壊試験・微破壊試験(ドリル削孔、小径コア等の利用)を検討し、システムとして構築している。また、建設インフラ部門に改編したことで、各種非破壊試験の鋼構造物への適用まで範囲を広げる。

本オーガナイズドセッションでは、鉄筋コンクリート構造物に加え鋼構造物に適用可能な各種非破壊・微破壊試験方法の理論、開発、適用事例、精度等の評価、解析、シミュレーション解析に関する研究論文を広く募り、意見交換を図るものである。

(2) 「応力・ひずみ測定と強度評価」

材料特性の評価、応力やひずみ等の材料の状態評価は材料をより効率的に、またより安全に使用するうえでこれからも重要である。また光計測技術や画像処理を応用した手法も発展を続けている。本オーガナイズドセッションでは、応力やひずみを測定する方法、またこれらの情報から材料の強度やその他材料特性を評価する方法に関する研究について成果発表を募集する。またこれらの評価方法を応用した研究についても成果発表を募集する。これらの研究成果を発表して頂き、情報交換および討論を行う。

(3) 「赤外線を中心とする電磁波を用いた非破壊評価とその周辺技術」

近年、検査技術そのものの発展は言うまでもなく、ロボティクス、ドローン、IOT、深層学習、逆問題、データサイエンスなど、検査技術を支援する周辺技術の発展が著しい。そこで、赤外線を中心とした電磁波を用いる非破壊評価やその周辺技術に関する講演を集め、関係者間の情報交換の機会とするとともに、新たな展開の萌芽となることを期待する。

(4) 「X線応力測定・ $\cos\alpha$ 法の進歩」

近年、イメージングプレートや半導体検出器によってX線回折計測技術が大いに発展すると同時に、従来のX線応力測定法とは異なる、新計測技術に対応する有効なX線応力測定法 $\cos\alpha$ 法等が開発され、特に高速性や小型可搬性を活かした製造現場や実機への残留応力評価への用途が拡大している。本オーガナイズドセッションでは、工業材料への $\cos\alpha$ 法を主とした2次元検出器によるX線応力測定の実用性、材料評価および現場適用の向上のため、有効性及各種課題について情報交換を行うことで研究開発及び産業貢献を大いに促進することを目的とする。

(5) 「放射線によるイメージングとその活用」

放射線(中性子線, X線, γ 線)によるイメージングは、放射線源・検出器といったデバイス自体の進歩に加え、ロボティクスやIoT、深層学習やデータサイエンスといった周辺技術の発展に伴い、より一層の高度化が進んでいる。そこで、放射線によるイメージング関連技術や、産業分野から文化財まで幅広い活用事例に関する講演を集め、情報交換および討論を行い、研究開発と産業貢献を促進する。

(6) 「インターナショナルセッション」

日本非破壊検査協会は、2014年10月に韓国非破壊試験学会(KSNT)との友好協定を改定し、これを機に、両協会がホストとなり、今後世界で活躍する若手研究者の方々が意見交換や交流を行う場を提供しております。前回は釜山にて開催され、盛況のうちに終了いたしました。本セッションでは、特定のテーマに限らず、非破壊試験、検査、評価に関する幅広い分野からの講演を募集しております。

2. 一般セッション

- 1) 放射線探傷試験
 - 2) 超音波探傷試験
 - 3) 表面探傷試験
 - 4) 応力・ひずみ試験
 - 5) 赤外線試験
 - 6) AE・音響試験
 - 7) 漏れ試験
 - 8) 電磁気による試験
 - 9) 素材プロセスにおける検査
 - 10) プラント保全における検査
 - 11) 建設インフラにおける検査
 - 12) 機械システムにおける検査
- 上記などに関する調査、研究、開発に関する技術報告。

3. 製品紹介セッション

技術開発の要素を含んだ製品紹介の発表とする。
当日、発表の補足として、カタログ、パソコン程度の展示を可能(1800mm×500mmの机1本)とする。
(講演申込時に技術要素を明確に記入する。又、展示希望の有無を記入する)

申込方法

講演申込については、協会ホームページ (<http://www.jsndi.jp/>) の「学術活動」→「秋季講演大会」→「講演受付」からお申込みください。
申込完了後、確認の連絡を差し上げます。受付確認の通知が届かない場合は、ご連絡くださるようお願いいたします。

講演申込期限 2026年 ~~6月30日(火)~~
⇒7月5日まで延長しました。

発表採択審査

講演申込みを頂いたものは、採択審査を行います。
講演要旨は採択審査に使用されますので、講演の内容を簡素かつ的確に表してください。
審査結果は、申込締切日の後、7月下旬に通知いたします。なお、採択以後の講演題目の変更は認められません。

講演

- 1) 講演の言語
言語は、日本語又は英語とします。

英語による講演発表（講演原稿・講演発表共に英語）を希望の方は、必ず英文講演申込みをしてください。

2) 登壇者の条件

当協会の正会員又は学生会員及び当協会が友好協定を締結している海外の機関の会員に限ります。（詳細は事務局へお問合せください）

なお、オーガナイズドセッションは、非会員の方でも受け付けます。

3) 講演時間

討論時間 5 分を含む 20 分とします。

4) 発表証明の交付

当初申込まれた登壇者が講演された場合には、当協会の発表証明書を交付いたします。講演当日の登壇者が既登録者と異なる場合には、発表証明の交付はいたしません。

参加登録料

	事前(9/22迄)	9/23～
会 員	8,000 円	11,000 円
一 般	15,000 円	19,000 円
学生会員	3,000 円	5,000 円
学生一般	6,000 円	9,000 円
懇 親 会	5,000 円	5,000 円

講演前刷原稿の提出

- 1) 執筆要領は採択通知発送時に連絡します。
- 2) 当協会所定のテンプレート（図、写真、表を含む）を用いて、一般及び製品紹介セッションでは2頁、オーガナイズドセッションに関する講演は2頁又は4頁。
- 3) **提出期限** 2026年8月10日(月)迄

新進賞贈呈

本大会において講演発表された若手の会員の中から、優秀な研究発表者（登壇者）を選び、後日（一社）日本非破壊検査協会新進賞を贈呈いたします。

- 1) 当協会の正会員（個人会員、団体会員）又は学生会員であり、大会期日内に満 30 歳以下であること。
- 2) 上記の条件に該当する発表者は講演申込書の新進賞該当欄に必要事項を記入しておくこと。記入がない場合は審査対象外となります。
- 3) 授賞対象者が非会員であった場合は後日、会員になる事を条件とします。
- 4) 既受賞者は対象外（当協会学術関連の他賞を含む）とします。

講演中の撮影

講演中のカメラやスマートフォン等による撮影は原則禁止としております。撮影される場合は、事前に登壇者の了承を得た上で、登壇前に座長へ申し出るようお願いいたします。

その他

- 1) 当会で行われた講演の抄録については、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、JST）が管理する文献データベース（JDreamⅢ、J-GLOBAL）への収録及び人工知能「AI」に関連する利用が行われる場合がありますので、予めご了承ください。なお、抄録はJSTの著者抄録利用方法により取り扱われます。
- 2) 組織委員会では、個人情報の適切な保護に努めます。なお、組織委員会では、地方自治体等に対する助成金申請の手続きのため、参加者の個人情報を利用していただくことがあります。

問合せ先

〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14

京阪亀戸ビル 10 階

（一社）日本非破壊検査協会 学術部学術課

TEL 03-5609-4015 E-mail : taikai@jsndi.or.jp

【会場案内図】

クランキューブ大阪



- 京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」（2番出口）すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
- JR東西線「新福島駅」（3番出口）から徒歩約10分

- 阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分